

令和4年8月16日から18日にかけての大雨について (滋賀県の気象速報)

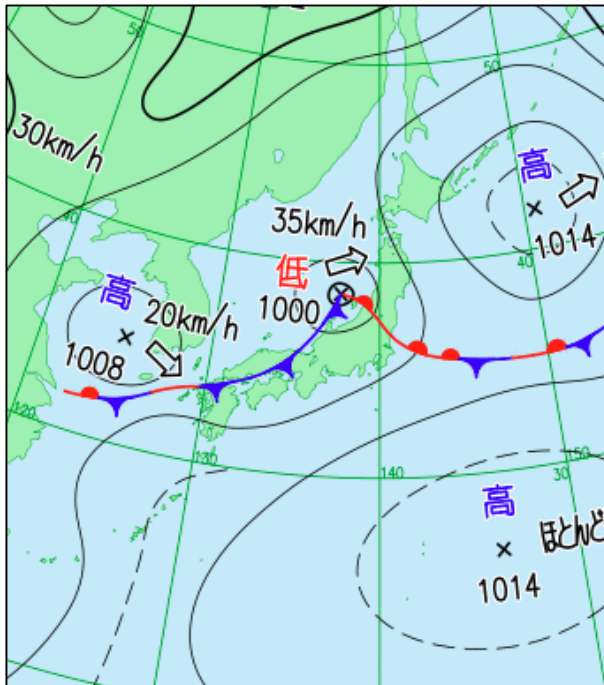
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

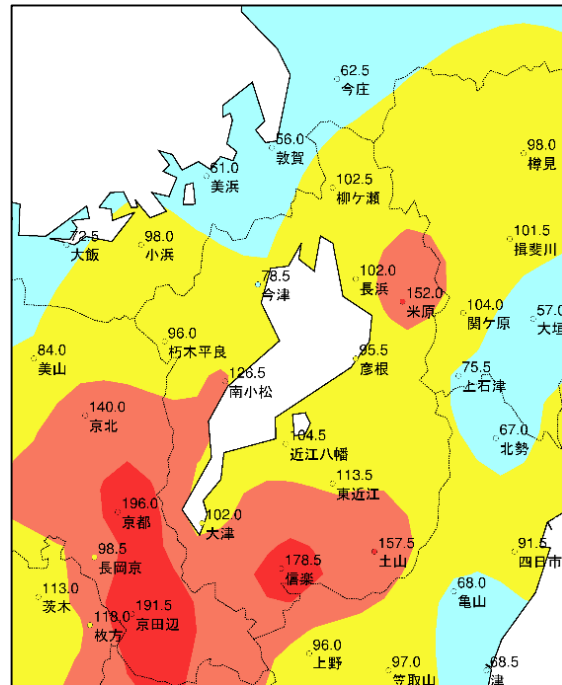
16日から17日にかけて日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、18日未明から明け方にかけて日本海の前線が南下し滋賀県を通過しました。そのため大気の状態が非常に不安定となり大雨となりました。

滋賀県南部では「高齢者等避難」が発令された市町がありました。人的被害は確認されていません。(18日09時現在、滋賀県調べ)

地上天気図(8月18日06時)



アメダス期間降水量
8月16日15時～18日09時



降り始めからのアメダス総雨量(速報値)
8月16日15時～18日09時

北部	
米原市朝日	152.0mm
大津市南小松	126.5mm
長浜市余呉町柳ヶ瀬	102.5mm
長浜市唐国	102.0mm
高島市朽木平良	96.0mm
彦根	95.5mm
高島市今津	78.5mm
南部	
甲賀市信楽	178.5mm
甲賀市土山	157.5mm
東近江市桜川東	113.5mm
近江八幡	104.5mm
大津市萱野浦	102.0mm

アメダス時系列グラフ(8月16日15時～18日09時)

<棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す>

